

科目番号	46	科目名	スポーツ社会学概論		
英文科目名	Introduction of Sport Sociology				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連絡先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担当教員	佐藤 馨			(スポーツ 学部 准教授)	
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場			
授業期間	2024年9月23日(月)～2025年1月20日(月) <毎週月曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 15 : 00				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)			65	%
	レポート試験(小レポート)			5	%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(授業中盤の確認テスト)			30	%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	本試験だけでなく、講義中盤で実施する確認テストも全体評価の30%を占める。従って、普段の講義で重要と指摘された点は確実に覚えるだけでなく、内容も正確に理解しておく必要がある。				
<講義概要・到達目標>					
スポーツ社会学では、スポーツの場面での人の行為や行動、スポーツに関わる組織やスポーツを通じて起こる社会現象や変動を学習する。講義では、スポーツに関連する事象を「人種・民族」「ジェンダー」「暴力」「マスメディア」「ドーピング」「政治」のテーマからスポーツに包含される課題を学ぶ。特にドーピングについては、学習指導要領「スポーツの歴史・文化的特徴と現代の特徴」において、それがスポーツの文化的価値を失わせる行為であることを過去の事例から理解し、その指導方法や授業計画の立て方について検討する。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月23日	スポーツ社会学概論:ガイダンスおよびスポーツ社会学の概説			
2	9月30日	社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ			
3	10月7日	社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響			
4	10月21日	人種・民族とスポーツ 人種・民族とスポーツとの関わり			
5	10月28日	人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題			
6	11月11日	ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か			
7	11月18日	ジェンダーとスポーツ らしさとスポーツ			
8	11月25日	ドーピングとスポーツ			
9	12月2日	スポーツとメディア メディアがスポーツに与える影響			
10	12月9日	スポーツとメディア スポーツの「見せ方」「あつかい方」			
11	12月16日	スポーツとガバナンス			
12	12月23日	スポーツとハラスメント			
13	1月6日	スポーツと政治 スポーツと政治との結びつき			
14	1月20日	スポーツと政治 スポーツにおけるテロリズム			
<教科書・参考書>					
教科書は特に指定しない。					
【参考文献】					
『Sport in Society 7th Ed』Coakley, J.J., Boston; MacGraw-Hill, 2001					
『スポーツの社会学』池田勝,守能信次編 杏林書院 1998					
『現代スポーツの社会学-課題と共生への道のり-』,J.コークリー,P.ドネリー著、前田和司,大沼義彦,村松和則共編訳,南窓社,2011					